


(シラバスNo.25)

科目名	特別講義 25-1 心理教育的アセスメント実習	科目コード	24P-K7	
		科目群名	(2021年カリキュラム) 専門科目(共通領域)	
	(2024年カリキュラム) 関連科目			
	Training in psychoeducational assessment	必修/選択	選択	
担当教員	岩澤 一美	単位数	2	

【授業概要】

心理教育的アセスメントの必要性から開始し、理論と実践方法についての知識を学習した後、実際に学校現場でよく使用される WISC-V を体験し、結果の分析、解釈、さらには準備された検査結果から支援計画の作成を実施する。第1回～第7回は ZOOM で、第8回以降は横浜キャンパス (9/14・15) で実施する。

【授業の到達目標】

WISC-V を実際に実施し、そこから得られたプロフィール分析を通して、児童生徒の特性を把握し、専門職としての判断に基づいて、それぞれに合わせた適切な支援方法を立案することができる。

【授業の形態】

メディア授業の実施 (あり)

<授業の特徴> (毎回実施に◎、適宜実施に○を付けてください)

形態	実施	具体的に実施すること
講義	○	・WISC-V の概要 ・WISC-V の5つの指標が示す力とプロフィールの分析方法
グループワーク・質疑	○	WISC-V による特性分析から、該当する児童生徒に必要なとされる支援についての議論
演習	○	・WISC-V の実施 ・WISC-V による特性分析 ・個別指導計画の立案
プレゼンテーション	○	・WISC-V のプロフィール分析から判断される必要な支援についての発表
制作		
その他 ()		

【授業計画】

回	内 容
1	イントロダクション
2	心理教育アセスメントとは
3	心理教育アセスメントの方法
4	心理検査について
5	学校や学級のアセスメント
6	WISC-V の概要
7	WISC-V の指標パターンによるプロフィール分析の方法
8	WISC-V による特性分析の実際
9	WISC-V 演習①～積木模様・類似・行列推理～
10	WISC-V 演習②～数唱・符号・単語～

11	WISC-V演習③～バランス・パズル・絵のспан～
12	WISC-V演習④～記号探し・語音整列・算数～
13	WISC-Vによる特性分析と個別指導計画の立案
14	具体的な事例分析と支援方法
15	保護者と教師・学校との関係調整
※この科目を履修することによって、学校心理士等の受験資格を <u>得ることはできません</u> が、資格取得後に役に立つ内容となっています。	
試験	
【履修上にあたっての準備】 WISC-Vの検査項目については事前に学修しておいてください。	
【授業外学修（予習・復習）】 WISC-Vのプロフィール分析を各自で行ってください。	
【評価方法】 授業への貢献（研究発表、レポート）（50%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。	
【教科書】 なし（必要に応じて資料を配布します）	
【参考図書】 日本版 WISC-V 刊行委員会（2023）. WISC-V 実施・採点マニュアル 日本版 WISC-V 刊行委員会(2023). 理論・解釈マニュアル 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(2013). LD・ADHD・高機能自閉症の子どもの指導ガイド 東洋館出版社（ISBN：9784491029337） 上野一彦・松田 修・小林 玄・木下智子(2015). 日本版 WISC-IVによる発達障害のアセスメント 日本文化科学社（ISBN：9784821063710） 阿部利彦・岩澤一美(2019). これだけは知っておきたい 発達が気になる児童生徒の理解と指導・支援 多様性のある子どもたちのあしたのために 金子書房（ISBN：9784760832705）	